

令和8年度

芳賀町当初予算説明資料

芳賀町一般会計予算

芳賀町国民健康保険特別会計予算

芳賀町後期高齢者医療特別会計予算

芳賀町介護保険特別会計予算

芳賀工業団地排水処理センター特別会計予算

芳賀町宅地造成事業特別会計予算

芳賀町下水道事業会計予算

◇令和8年度行政運営方針

令和 8 年度は、第 7 次芳賀町振興計画前期基本計画の 3 年目として、「スーパースマートタウン～ 幸せを実現できるまち ～」を目指し、3 つの将来像である「住みやすいまち」、「活気あふれるまち」、「持続できるまち」の取り組みを加速させ、具体化するため、5 つの重点プロジェクトに重点的に予算を計上しました。

1 公共交通利活用プロジェクト

令和 8 年 3 月末に一部の路線を残し、町内のバス路線が廃止になります。そこで、新たな公共交通として、AIオンデマンドタクシーをスタートさせます。

これまでの実証実験等の結果を反映させ、国の補助事業を活用し、令和 8 年 10 月にサービスを開始する予算を計上しました。企業の皆さまと共創で、未来の交通モデルづくりを進めます。

また、高齢者通院タクシー事業を拡充し、全世代で利用できる制度としました。既存の高齢者福祉タクシーや障害者福祉タクシー助成と合わせて、町民の皆さまの移動手段を確保します。

観光資源の創出とシティプロモーションの推進では、これまでも検討を進めてきた「かしの森公園」の再整備事業については、引き続き、民間活力導入の検討を進め、本格的に再整備を進めるための測量業務、実施設計業務などの予算を計上しました。

LRTを軸に芳賀町の魅力を広く発信するために設立した官・民・学の連携によるシティプロモーション組織「L×Haga 事業実行委員会」を継続します。また、新たに町の「食」をテーマにしたプロモーション手法や「人材育成」「組織づくり」に向けた活動に取り組み、町民参加型の芳賀町らしいシティプロモーションの実現に向けて、より一層事業を推進します。

ふるさと納税では、令和7年度の実績から令和8年度は、増収を見込み、返礼品及び運営業務に係る費用を拡充しました。

2 持続可能プロジェクト

行政事務におけるデジタルの活用やデジタル人材の育成を図るため、職員向けDX研修を実施し、AI、RPAを活用して行政事務の効率化とペーパーレス化などを進めます。

また、行政事務における文書事務、会計処理については、ペーパーレス化による決裁の迅速化を図ります。

町公式LINEや町HPの機能を拡張し、町民の皆さまが使いやすいと分かりやすいようにいたします。

カーボンニュートラルの推進では、再生可能エネルギーの活用などの取組みを進めるため、太陽光発電・蓄電池整備、省エネ家電製品買替支援を進めます。

町有施設の電気供給業者を変更し、使用する電気を再生エネルギーに変えることで二酸化炭素排出と経費の抑制を図ります。

3 定住促進プロジェクト

居住環境の整備について、祖母井中部地区では、町民会館北側周辺の基本設計及び換地計画などを進めます。LRT沿線の下原地区では、地区計画制度を活用した新たな住宅団地整備に向けた道路計画や下水道整備計画を進めます。

空き家対策として、空き家相談会を引き続き開催し、空き家の活用を進めます。また、空き家バンクの登録を促し、移住定住希望者のニーズに応えられるよう民間事業者等と連携した施策を行うとともに、新たにリフォーム工事費補助金を拡大し管理不全の空き家解体経費を支援します。

4 健康増進プロジェクト

健康づくりの推進では、年齢や身体機能等に応じた健康づくりの推進や健康測定会の開催などにより、健康への関心を高め、運動習慣の定着に取り組むことで疾病予防や健康寿命の改善を図ります。

スポーツ活動の推進では、町民の皆さまが広くスポーツに親しむことができる環境づくりを図るために進めてきた総合型地域スポーツクラブをスタートさせます。

スポーツ環境整備では、令和 7 年度に設計を行った芳賀町第二体育館屋根改修工事、けやき台公園サッカー場を人工芝化するための設計を行います。

海洋センターは、令和 7 年度から令和 8 年度で計画している「ろ過装置更新工事」が完了し、他の改修工事完了と合わせて、8 月にリニューアルオープンを予定しています。

5 子育て応援プロジェクト

子育て世代の方を対象としたアンケート調査結果から、「出産・子育てがしやすい環境」や「学校教育・児童教育の充実」を期待する声が、寄せられています。子育て支援では、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援のさらなる拡充を図ります。新たに「こども誰でも通園制度事業」を祖母井保

育園で始めます。また、芳賀北小学校敷地内に学童保育施設を整備するための設計を行い、令和9年度に建設事業を行えるよう進めてまいります。

子どもの教育の充実では、国・県の補助を活用し、小学校と中学校給食費の無償化を図ります。小学校、中学校で活用しているタブレット端末、電子黒板の更新を行い、ICT教育の充実を図ります。耐用年数を過ぎた芳賀中学校空調整備を更新するため、工事の設計を行います。

6 重点施策以外の事業

重点施策以外の事業では、町民の皆さまの安全安心な暮らしを支える道路や橋などの生活インフラの整備をはじめ、結婚支援、農業者や商業者支援を拡充します。また、防犯防災面では、防犯カメラ設置工事、防災行政無線サーバー更新工事、避難所用備品の購入などを進めます。

物価高騰対策としましては、令和7年度に交付された「重点支援地方創生臨時交付金」を既に予算化した「商品券交付事業」の他に「水道料金減免事業」「小学校中学校給食材料費高騰対策事業」に活用するため、令和8年度の当初予算に計上しています。

令和8年度の一般会計予算は、95億2千万円を計上し、芳賀町の目指す姿「スーパー・スマートタウン～幸せを実現できるまち～」となるよう、取り組んでまいります。

○令和8年度一般会計当初予算の主な内容

《歳入》

第1款 町税は、歳入全体の50.9%を占める48億4,200万円で、前年度に対して3億1,400万円、6.9%の増となります。

第1項 町民税は、個人町民税が前年度と比べ7,459万1千円の増収で、8億4,829万1千円、企業業績などによる法人町民税は、704万1千円の減収で、3億7,975万5千円を見込みました。

第2項 固定資産税は、前年度より2億4,030万3千円多い32億5,658万9千円を見込みました。

第6項 入湯税は、前年度より115万2千円多い1,056万円を見込みました。

第2款 地方譲与税は、国の税制改革により減収見込みで、前年度より1,300万円少ない1億2,100万円を見込みました。

第7款 地方消費税交付金は、物価高騰等により増加傾向にあるため、前年度より3,000万円多い6億4,000万円を見込みました。

第11款 地方交付税は、物価や賃金上昇による行政経費や公債費の増加などを考慮し、基準財政需要額の増を見込みましたが、税收や交付金の増加から、基準財政収入額も増

加することで、不交付団体となることが想定し、特別交付税と震災復興特別交付税、併せて 1,050 万 1 千円を見込みました。

第 13 款 分担金及び負担金は、芳賀地区広域行政事務組合派遣職員負担金や学童保育保護者負担金の増を見込み、前年度より 919 万 4 千円多い 4,861 万 4 千円を見込みました。

第 14 款 使用料及び手数料は、LRTの軌道施設使用料の増加を見込み、前年度より 230 万 6 千円多い、3,755 万円を見込みました。

第 15 款 国庫支出金は、新たに地域未来交付金 2,284 万 9 千円、令和 8 年分の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 5,443 万 9 千円、重層的支援体制整備事業交付金 2,653 万 9 千円などを見込み、前年度より 6,766 万 8 千円多い、11 億 7,278 万 4 千円を見込みました。

第 16 款 県支出金は、篠ノ入溜改修工事のための農業水路等長寿命化・防災減災事業交付金 3,600 万円、LRT整備事業費補助金 6,246 万 6 千円、学校給食材費補助 5,792 万円などを見込んだことから、前年度より 1 億 1,470 万 6 千円多い、10 億 2,889 万 7 千円を見込みました。

第 17 款 財産収入は、祖母井中央地区整備費に係る土地売払収入 3,502 万 9 千円がなくなったため、前年度より 1,990 万 3 千円少ない、3,998 万 3 千円を見込みました。

第 18 款 寄附金は、前年度より 3,000 万円多い、ふるさと芳賀応援寄附金 5,000 万円と企業版ふるさと納税 2,000 万円を見込みました。

第 19 款 繰入金には、財政調整基金から 3 億円、教育施設等整備基金から 4,033 万 9 千円、ふるさと応援寄附金から 5,000 万円などを繰り入れします。

第 21 款 諸収入は、海洋センターろ過装置更新工事実施に伴い、B&G財団助成金 5,000 万円などを見込んだことから前年度より 4,108 万 4 千円多い、1 億 6,333 万 7 千円を見込みました。

第 22 款 町債では、総務債 210 万円、民生債 1,390 万円、農林水産業債 4,550 万円、商工債 1,320 万円、土木債 1 億 3,600 万円、消防債 7,480 万円、教育債 1 億 1,320 万円を計上しました。

《歳 出》

人件費については、一般職の人件費全体では、前年度より 9,794 万 9 千円多い 16 億 5,462 万 3 千円となります。

内訳として、会計年度任用職員以外の職員の人件費は、職員の新陳代謝等により、2 人減の 156 人となり、給料は、前年度より 1,233 万 3 千円多い、6 億 3,202 万 4 千円、職員手当

は2,890万7千円多い、4億26万5千円となり、合計で4,124万円多い10億3,228万9千円となります。

会計年度任用職員の人件費は、11人増の95人となり、前年度より4,644万9千円多い4億1,056万4千円となります。

第1款 議会費は、前年度より152万6千円少ない8,919万3千円を計上しました。議会運営にかかるタブレット端末使用料88万6千円などを計上しました。

第2款 総務費は、前年度より6,409万8千円多い14億5,933万4千円を計上しました。

第1項 総務管理費の一般管理費には、職員健康診断、メンタルヘルス支援業務、ハラスメント相談業務委託料242万1千円などを計上しました。

文書費の文書管理費では、公文書を電子化する文書管理システム構築業務委託料635万円などを計上いたしました。

財産管理費の庁舎維持管理費では、役場庁舎内で使用している電話に留守番機能を追加する音声応答転送装置設置工事費216万円などを計上しました。

企画費の企画総務費では、新たな成果指標を検討するための、ウェルビーイングワークショップ業務委託料225万5千円、定住促進を図るための結婚新生活支援業務補助金300万円、結婚活動支援事業補助金10万円などを計上しました。

自治振興費には、地域活動を支援する大字自治会補助金にわがまちつながり構築事業補助金を含めた 1,011 万 3 千円、地域のDXのための地域活動デジタル活用支援事業補助金 60 万円などを計上しました。

公共交通推進費では、オンデマンドタクシー実証実験を継続するため、1,103 万 4 千円などを計上しました。

生活バス運行支援費では、令和 7 年度分の精算金である芳賀町生活バス路線維持費補助金 1,913 万 4 千円などを計上しました。

デマンドタクシー運行費では、現在運行しているデマンドタクシーのひばりタクシー運行業務委託料 1,278 万 5 千円、新たに始まるAIを使ったデマンドタクシー運行業務委託料 2,577 万 8 千円、システム導入支援業務委託料 1,833 万 5 千円、システム保守業務委託料 212 万 6 千円、車両購入費 1,944 万 5 千円、車両ラッピング業務委託料 264 万円などを計上しました。

情報費の広報費では、広報紙の印刷製本費 532 万 7 千円、町公式LINE機能拡張業務委託料 55 万円などを計上しました。

DX推進費では、役場内のDXをさらに推進するため、業務手順書作成及び業務改善伴走支援業務委託料 310 万 2 千

円、業務を自動化するRPA実装業務委託料 103 万 4 千円、生成AI使用料 171 万 6 千円などを計上しました。

LGWAN接続系運営費では、公金収納電子化構築業務委託料 242 万円、町内学校 LGWAN 無線化構築業務委託料 155 万 8 千円などを計上しました。

マイナンバー利用事務系運営費では、ガバメントクラウドに移行が完了し、各種システムの使用料 4,783 万 7 千円などを計上しました。

ホームページ運営費では、リニューアル業務委託料 1,229 万 8 千円、AI対話システム、チャットボット構築業務委託料 408 万 1 千円などを計上しました。

基金費の基金管理費では、ふるさと芳賀応援基金積立金 5,000 万 1 千円などを計上しました。

安全対策費の防犯対策費には、防犯カメラ設置工事費 433 万 4 千円などを計上しました。

第 4 項 選挙費には、栃木県議会議員選挙費 330 万円を計上しました。

第 5 項 統計調査費には、商業統計にかかる経費 82 万 7 千円を計上しました。

第 3 款 民生費は、前年度より 1 億 7,177 万 9 千円多い 29 億 917 万円を計上しました。

第 1 項 社会福祉費の社会福祉協議会運営支援費には、運営費補助金 5,607 万 4 千円、国民健康保険特別会計繰出金には、8,958 万 7 千円、後期高齢者医療広域連合負担金には、1 億 8,190 万 8 千円、後期高齢者医療特別会計繰出金には、4,740 万 5 千円を計上しました。

老人福祉費の高齢者日常生活支援費では、扶助費として、通院タクシー費助成 120 万円、高齢者福祉タクシー費助成 279 万 2 千円などを計上しました。

高齢者の生きがいつくり推進費では、敬老祝い金として報償金 399 万円などを計上しました。

シルバー人材センター支援費には、運営費補助金 1,077 万 1 千円、介護保険特別会計繰出金には、2 億 3,627 万 3 千円などを計上しました。

障害者福祉費の障害者福祉総務費には、障害者福祉計画策定業務委託料 174 万 9 千円などを計上しました。

障害者福祉タクシー費には、扶助費として、福祉タクシー助成 100 万円などを計上しました。

障害者自立支援費には、扶助費 4 億 5,944 万 7 千円などを計上しました。

第 2 項 児童福祉費の要保護児童対策費には、子どもの居場所づくり及び、見守り配食サービス業務委託料 115 万 4 千

円、児童育成支援拠点事業費補助金 1,770 万円などを計上しました。

児童手当給付費には、扶助費 3 億 2,126 万円、母子福祉費のこども医療助成費には、扶助費 8,764 万 8 千円を計上しました。

保育所費の祖母井保育園管理費には、調理室空調更新工事及び園舎整備改修工事費 262 万 9 千円などを計上しました。

祖母井保育園運営費には、こども誰でも通園制度事業に係る人件費 434 万 5 千円、子ども・子育て支援事業費には、教育保育施設運営費負担金 6 億 7,061 万 7 千円などを計上しました。

児童費の育児支援費には、地域子育て支援センター運営委託料 2,154 万 1 千円を計上しました。

放課後子供健全育成費には、学童保育運営委託料 8,224 万 3 千円、学童保育所新築工事設計業務委託料 1,740 万 2 千円などを計上しました。

第 4 款 衛生費は、前年度より 1,013 万 7 千円少ない 6 億 6,854 万 8 千円を計上しました。

第 1 項 保健衛生費の保健衛生総務費には、芳賀赤十字病院運営費補助金 1,905 万 9 千円などを計上しました。

予防費の予防接種費には、予防接種委託料 3,807 万 8 千円、生活習慣病検診費には、総合検診委託料 3,566 万 2 千円などを計上しました。

子どもの健康づくり支援費には、子ども家庭センター専門員の報酬 1,069 万 2 千円などを計上しました。

妊娠出産支援費には、妊婦健康診査委託料 717 万 6 千円、出産子育て応援給付事業では、にこっと子育て応援事業 900 万円、出産祝金 900 万円などを計上しました。

環境衛生費の公衆衛生費には、芳賀地区広域行政事務組合に対する新斎場整備事業費負担金 2,894 万 9 千円などを計上しました。

環の町芳賀推進費には、EV車を使用して回収を行う容器包装プラスチック類回収処理業務委託料 864 万 1 千円、同じく生ごみ回収処理業務委託料 1,257 万 3 千円などを計上しました。

カーボンニュートラル推進事業費には、省エネ環境教育実施業務委託料 16 万 5 千円、省エネ家電製品買換促進事業補助金 300 万円などを計上しました。

清掃費のごみ処理費には、ごみ処理に係る負担金 9,069 万 8 千円、し尿処理費には、し尿処理に係る負担金 6,118 万 2 千円を計上しました。

第 2 項 上水道施設費の上水道運営支援費には、水道事業費補助金 3,570 万 5 千円、物価高騰対応料金減免分として補助金 2,800 万円を計上しました。

第 6 款 農林水産業費は、前年度より 5,984 万 4 千円少ない 6 億 4,009 万 6 千円を計上しました。

第 1 項 農業費の農業振興費には、地域農産物ブランド化推進費に 192 万 1 千円を計上しました。

農業担い手育成支援費には、スマート農業推進支援事業補助金 300 万円、新規就農者の育成のための交付金 1,275 万円などを計上しました。

畜産費の畜産振興費には、畜産担い手育成総合整備事業補助金 5,189 万円など計上しました。

農地費の多面的機能支払交付金には、共同活動及び長寿命化事業に係る交付金など 2 億 2,393 万 2 千円を計上しました。

農業農村整備費には、上横東上野原線農道工事設計業務委託料 438 万 5 千円、及び舗装工事費として 4,016 万 4 千円、防災対策として篠ノ入溜実施設計業務委託料 52 万円、ため池改修工事に 4,800 万円などを計上しました。

北部第 2 地区ほ場整備事業費には、農地整備事業負担金 777 万 9 千円、下水道事業会計への農業集落排水繰出金 6,384 万 5 千円を計上しました。

第 7 款 商工費は、前年度より 7,463 万 9 千円多い 3 億 1,712 万 6 千円を計上しました。

第 1 項 商工費の工振興費には、芳賀町工業団地排水処理センター特別会計繰出金として、1,439 万 9 千円などを計上しました。

商工振興費には、プレミアム商品券発行事業補助金 700 万円などを計上しました。

ふるさと納税管理費には、運営委託料など 2,865 万円を計上しました。

観光費のシティプロモーション推進費には、シティプロモーション推進支援業務委託料 320 万 7 千円、L×Haga 事業実行委員会補助金 320 万円などを計上しました。

道の駅はが管理費の温泉センター管理運営費には、制御盤改修工事基本設計業務委託料 759 万円、同 支援業務委託料 211 万 2 千円、第 1 号源泉ポンプ交換工事 1,760 万円、ふるさと交流体験センター管理運営費には、指定管理料 2,100 万円、道の駅はがなど、町の魅力発信を強化するため、

地域おこし協力隊採用支援業務委託料 350 万円、地域活性化起業人派遣負担金 442 万 5 千円などを計上しました。

第 8 款 土木費は、前年度より 913 万 3 千円多い 8 億 2,013 万 3 千円を計上しました。

第 1 項 土木管理費の地籍調査費には、測量業務委託料 3,045 万 1 千円などを計上しました。

第 2 項 道路橋梁費の道路橋梁総務費には、交通安全施設整備費にガードレール、街路灯、路面表示など交通安全施設を設置更新する工事費 2,060 万 1 千円などを計上しました。

道路維持費の道路維持整備費には、西秋場宮田上線測量業務委託料 1,285 万円、道路維持工事費 7,287 万 3 千円、道普請費には、469 万 7 千円などを計上しました。

道路新設改良費の町道新設改良費には、大塚南線道路改良工事費 4,017 万 7 千円、飯島上横西線道路改良工事費 6,246 万 6 千円、同 道路用地購入費 9,250 万円などを計上しました。

橋梁維持費には、橋梁補修積算業務委託料など 3,763 万 1 千円を計上しました。

第 3 項 都市計画費には、祖母井中部整備費として、町民会館北側周辺地区換地計画業務委託料など測量調査業務委託料 1,722 万 9 千円を計上しました。

公園管理費には、かしの森公園桜植栽業務委託料 1,244 万 1 千円、現況測量業務委託料 209 万円、地質調査業務委託料 260 万 2 千円、整備に係る実施設計業務委託料 1,496 万円などを計上しました。

LRT管理費には、施設等の維持管理業務委託料 1,299 万 6 千円、車両修繕及び予備用部品調達などに関する負担金 4,554 万 9 千円などを計上しました。

公共下水道費の下水道事業会計繰出金には、下水道事業会計への公共下水道繰出金 9,322 万 6 千円を計上しました。

第 4 項 住宅費の住宅管理費には、建築物耐震改修促進費として木造住宅耐震改修等補助金 375 万円、危険ブロック塀撤去補助金 10 万円などを計上しました。

空き家対策推進費には、リフォーム工事費補助金 150 万円、空家解体補助金 50 万円、定住促進費には、移住支援事業補助金 300 万円、定住促進補助金 1,900 万円などを計上しました。

第 9 款 消防費は、前年度より 9,892 万 9 千円多い 4 億 7,125 万 2 千円を計上しました。

第 1 項 消防費の非常備消防費には、消防団活動費として、2,315 万 3 千円を計上しました。

情報無線管理費には、防災行政無線サーバー更新工事費 7,482 万 2 千円などを計上しました。常備消防費には、広域消防に係る負担金 2 億 9,059 万 5 千円を計上しました。

災害対策費には、災害対応用の備品購入費 3,888 万 5 千円などを計上しました。

第 10 款 教育費は、前年度より 1 億 3,562 万 4 千円多い 15 億 2,032 万 2 千円を計上しました。

第 3 項 教育振興費の学力向上推進費には、学習指導助手報酬 3,507 万 6 千円、体力向上推進費には、部活動指導員報酬 203 万 3 千円などを計上しました。

英語力向上推進費には、小中学校に外国人講師と日本人講師を派遣する経費 2,296 万 8 千円などを計上しました。

学校ICT推進費には、児童生徒学習用と教師指導用学習タブレット端末、電子黒板の購入費 1 億 1,437 万 3 千円などを計上しました。

教育相談費では、教育相談員の報酬など 1,462 万 9 千円を計上しました。

第 2 項 小学校費の学校管理費には、小学校給食調理費として小学校 3 校の給食調理運営委託料 5,823 万円、国県補助を活用し、小学校の給食費を無償化にするため、町からの補助を含め 5,233 万 8 千円などを計上しました。

スクールバス運行事業費には、スクールバス運営委託料 1 億 3,447 万 8 千円などを計上しました。

第 3 項 中学校費の学校管理費には、中学校給食調理費として給食調理業務委託料 3,170 万 2 千円、県補助を活用し、中学校の給食費を無償化にするため、町からの補助を含め 3,202 万 1 千円などを計上しました。

中学校整備費には、芳賀中学校校舎空調設備更新工事設計業務委託料 1,063 万 7 千円などを計上しました。

第 4 項 社会教育費の町民会館費には、町民会館管理費として、空調中央監視装置更新工事設計業務委託料 127 万 6 千円などを計上しました。

総合情報館費の総合情報館管理費には、空調設備工事設計業務委託料 62 万 7 千円、空調設備工事費 894 万 3 千円などを計上しました。

第 5 項 保健体育費の保健体育総務費には、生涯スポーツ振興費として、総合型地域スポーツクラブ運営のための総合型地域自立支援事業補助金 275 万 7 千円、地域クラブ活動補助金 272 万 8 千円、地域スポーツクラブマネージャー設置支援事業費補助金 399 万 6 千円などを計上しました。

体育施設費の体育施設管理費には、けやき台公園サッカー場人工芝化等整備工事設計業務委託料 396 万円、第二体

育館屋根改修工事監理業務委託料 242 万円、第二体育館屋根改修工事費 5,405 万 4 千円などを計上しました。

海洋センター費の海洋センター管理運営費には、8 月から令和 9 年 3 月までの 8 か月分の指定管理料 5,519 万 2 千円、4 月から 7 月までの管理委託料 1,342 万円、ろ過装置更新工事監理業務委託料 82 万 8 千円、ろ過装置更新工事 7,146 万 6 千円、プール内部塗装塗替工事 770 万円などを計上しました。

第 12 款 公債費には、元金と利子の償還を合わせて、前年より 1 億 5,653 万 6 千円多い 5 億 9,400 万 1 千円を計上しました。

議案書 第 2 表 債務負担行為は、AIオンデマンドタクシー運行業務を令和 11 年度まで、EV 車を活用したごみ収集運搬業務を令和 13 年度までなどとしました。

議案書 第 3 表 地方債の主なものは、大塚南線や飯島上横西線の整備に係る町道新設改良費 1 億 580 万円、防災行政無線サーバー更新工事に係る防災無線管理費 7,480 万円、児童生徒及び教師用タブレット端末購入や電子黒板購入に係る学校 ICT 推進費 5,680 万円などです。

○令和8年度国民健康保険特別会計予算

《基本方針》

国民健康保険特別会計は、被保険者の皆様からの保険税と国・県等の公費負担を財源として、医療機関に支払う保険給付費を賄う仕組みにより運営されています。

平成30年度からは、制度改革により都道府県が、財政運営の責任主体となり、市町村は資格管理や保険税の賦課徴収、保健事業を実施しております。

本町におきましても、栃木県と連携しながら、安定的かつ持続可能な制度運営に努めているところです。

《予算の概要》

歳入歳出予算の総額は、18億6,000万円で、前年度に対して6,000万円、率にして3.1%の減となります。

《歳入》

第1款 国民健康保険税 3億9,544万2千円は、前年度と比較して5.9%の増となります。

第5款 県支出金 13億2,498万4千円は、前年度と比較して4.2%の減となります。これは、保険給付費が、下がる見込みであることから、栃木県保険給付費等交付金も減額となるためです。

《歳 出》

第 2 款 保険給付費 12 億 9,500 万円は、被保険者の療養給付費等です。保険給付の減少を見込み、前年度と比較して 3.9%の減となります。なお、保険給付費の大部分は、栃木県保険給付費等交付金が財源となります。

第 3 款 国民健康保険事業費納付金 5 億 1,662 万 2 千円は、県から額が示され、町が県に納付するものです。前年度と比較して 0.4%の減となります。

第 5 款 保健事業費 2,346 万 6 千円は、特定健康診査事業等にかかる費用や疾病予防にかかる費用です。前年度と比較して 6.0%の減となります。

○令和8年度後期高齢者医療特別会計予算

《基本方針》

平成20年4月に施行された後期高齢者医療制度は、すべての市町村で構成された都道府県単位の広域連合が運営主体です。進む高齢化により医療費の増加が見込まれる中、財政の安定化を図り、高齢者の皆様が安心して医療を受けられるための仕組みです。今後も、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら事業を推進してまいります。

《予算の概要》

歳入歳出予算の総額は、2億7,600万円で前年度に対して4,300万円、率にして18.5%の増となります。

《歳入》

第1款 後期高齢者医療保険料 2億1,304万2千円は、後期高齢者医療の被保険者が納める保険料を計上しました。

第6款 諸収入 1,254万9千円は、後期高齢者医療広域連合から委託される健康診査の受託料などです。

《歳出》

第1款 総務費は、後期高齢者事業運営に係る保険料の賦課・納付書発送の経費など292万円を計上しました。

第2款 後期高齢者医療広域連合納付金 2億5,714万2千円は、町が徴収した保険料及び保険料軽減に係る保険基

盤安定負担金を広域連合に納付するための経費です。前年度と比較して18.1%の増となります。

第3款 後期高齢者健診事業費 1,393万2千円は、健康増進のための健康診査に係る委託料などです。健診や人間ドック受診者の増加を見込み、前年度と比較して23.2%の増となります。

○令和8年度介護保険特別会計予算 《基本方針》

要介護・要支援認定者の介護サービス等に係る給付事業や、要介護・要支援状態になることを防止するための介護予防事業を実施するものです。また、介護予防教室、認知症対策、高齢者の居場所づくりなどを通じて、地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めます。介護保険制度は、要介護者を社会全体で支える仕組みとして、3年ごとに策定される計画に基づき運営されています。

令和8年度予算は、第9期介護保険事業計画の3年目に当たります。

○保険事業勘定

《予算の概要》

歳入歳出予算の総額は16億5,300万円で、前年度と比較して8,500万円、率にして4.9%の減となります。

《歳入》

第1款 保険料は、第1号被保険者の介護保険料、3億5,850万円を見込みました。

第3款 国庫支出金は、介護給付費負担金、調整交付金、地域支援事業交付金など3億4,863万9千円を見込みました。

第4款 支払基金交付金は、第2号被保険者の介護保険

料、4億3,664万円を見込みました。

第5款 県支出金は、介護給付費負担金、地域支援事業交付金など2億3,133万3千円を見込みました。

第7款 繰入金は、一般会計、介護保険基金及びサービス事業勘定からの繰入金として、2億7,762万5千円を見込みました。

《歳出》

第1款 総務費は、介護認定などに係る事務費として、2,343万円を計上しました。

第2款 保険給付費は、要介護・要支援認定者への介護サービス等に対する給付費として、15億7,711万5千円を計上しました。

第3款 地域支援事業費は、介護予防事業や高齢者の自立した生活を支援する事業の費用として、4,419万9千円を計上しました。

○介護サービス事業勘定

《予算の概要》

歳入歳出予算の総額は650万円で、前年度と比較して50万円、率にして7.1%の減となります。

《歳入》

第1款 サービス収入は、地域包括支援センターが行う介

護予防ケアマネジメントの収入として、539 万 4 千円を見込みました。

第3款 繰越金は、前年度繰越金として、110 万 3 千円を見込みました。

《歳 出》

第2款 事業費は、介護予防ケアマネジメントに係る諸経費や地域包括支援センター職員の人件費に係る負担金として、599 万 4 千円を計上しました。

○令和8年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計予算 《基本方針》

この排水処理センターは、平成元年 3 月に竣工し、今年で 38 年目を迎える水処理施設です。現在、芳賀工業団地 及び 芳賀・高根沢工業団地、芳賀第 2 工業団地に立地している 110 の事業所で使用した排水を処理しています。

《予算の概要》

歳入・歳出予算の総額は、9,700 万円で、前年度に対して 4,277 万円の増、率にして 78.9%の増となります。

《歳 入》

第1款 分担金及び負担金は、令和8年度中に企業1社の立地を見込み、2,942 万円を計上しました。

第 2 款 使用料及び手数料は、新料金体系で排水処理量を一月当たり約 55 万立方メートルと見込み、5,307 万 9 千円を計上しました。

第 4 款 繰入金は、機器更新工事設計費、設計監理費に充当するため、一般会計からの繰入金として、1,439 万 9 千円を計上しました。

《歳 出》

第1款 共同排水事業費には、処理場管理費のための需用費として、排水処理薬品などの消耗品費や光熱水費、修繕料

などの費用 1,997 万 3 千円を計上しました。委託料には、施設保守管理業務で 2,750 万円、汚泥運搬処理委託業務で 355 万 1 千円、機器更新工事設計費 1,348 万 6 千円、機器更新工事設計に伴う監理費として、91 万 3 千円を計上しました。積立金には、令和 8 年度中に立地予定の企業1社の分担金 2,942 万 2 千円を計上しました。

第 2 款の予備費には、100 万円を計上しました。

○令和8年度芳賀町宅地造成事業特別会計予算 《基本方針》

宅地造成事業は、良好な住宅地の供給を目的に、赤坂地区において祖陽が丘住宅地の分譲を進めており、住宅用地は全て売却が完了しております。令和8年度は、現在、商業用地で実施中の、道路や上下水道工事の完了後に、画地測量や分筆登記等を行い、住宅用地として10区画を速やかに再分譲いたします。

《予算の概要》

歳入歳出予算の総額は、5,930 万円で、前年度に対して1,230 万円の増となります。

《歳入》

第3款 繰越金 29 万 6 千円は、前年度繰越金です。

第4款 財産収入 5,900 万 1 千円は、土地売払収入などです。

《歳出》

第1款 事業費 5,930 万円は、土地開発基金で保有していた土地を宅地造成事業特別会計で買い戻すための土地購入費 2,162 万 2 千円、分譲地売り払い収入の余剰金を一般会計に繰り出すための繰出金 3,755 万 5 千円などを計上しました。

○令和8年度芳賀町下水道事業会計予算

《基本方針》

芳賀町下水道事業会計は、令和 6 年度から地方公営企業法の適用を受け、企業会計に移行したことに伴い、令和 5 年度までの公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計を一つの会計にまとめたものです。

公共下水道事業は、地域の水質保全と生活環境の改善を図るために、平成 12 年度の事業着手以来、計画的な整備と普及率向上に努めてまいりました。令和 7 年度末における整備面積は117.7haで、全体計画面積に対する進捗率は57.8%となる見込みです。引き続き、計画的な整備を進めるとともに、財源の安定を図るために水洗化の普及促進に努めてまいります。

農業集落排水事業は、昭和 60 年度の事業着手以来、8 地区で安定的な処理施設の稼働を維持しており、現在の汚水処理戸数は 1,058 戸となっております。引き続き、処理施設の適正な維持管理に努めてまいります。

《予算の概要》

経常的な営業収支予算となる収益的収入は、公共下水道事業では2億678万円 農業集落排水事業では1億7,194万9千円となります。固定資産の減価償却費を含む収益的支出は、

両事業とも収入と同額となります。

建設収支予算である資本的収入は、公共下水道事業では1億6,227万1千円、農業集落排水事業では、4,950万2千円となります。

次に、資本的支出は公共下水道事業では2億2,003万5千円となり、収入に対し、5,776万4千円の不足となります。

農業集落排水事業では、8,949万4千円となり、収入に対し3,999万2千円の不足となります。

両事業とも不足額は資本的消費税及び消費税調整額により536万4千円、損益勘定留保資金により9,239万2千円を補てんいたします。

《収益的収入》

両事業において、営業収入として使用料収入、営業外収益として一般会計からの繰入金、減価償却費の国庫補助金相当額となる長期前受金戻入などを計上しました。

《収益的支出》

第1款 公共下水道事業費では、営業費用として、下水汚泥資源化工場処理費負担金など管渠費に1,074万5千円、水処理センターの運転経費など、処理場費に3,991万4千円、使用料徴収業務など総係費に807万円、減価償却費に1億2,084万5千円、営業外費用として企業債償還利子2,570万

4千円などを計上しました。

第2款 農業集落排水事業費では、営業費用として、処理場の運転経費など処理場費 5,355 万 6 千円、事業運営全般に係る総係費に 640 万 7 千円減価償却費に 1 億 279 万 3 千円、営業外費用として、企業債償還利子 469 万 2 千円などを計上しました。

《資本的収入》

第1款 公共下水道事業資本的収入では、建設費用などに充てるための企業債 9,310 万円、国庫補助金 5,475 万円、一般会計繰入金 277 万 9 千円、受益者負担金 1,164 万 2 千円を計上しました。

第2款 農業集落排水事業資本的収入では、企業債 4,570 万円、一般会計繰入金 40 万 2 千円、受益者負担金 340 万円を計上しました。

《資本的支出》

第1款 公共下水道事業資本的支出では、下原地区での布設工事を含む、管渠建設改良費 1 億 2,587 万 5 千円、企業債償還金 9,415 万 9 千円などを計上しました。

第2款 農業集落排水事業資本的支出では、公共ます設置に係る建設改良費 480 万円、企業債償還金 8,469 万 4 千円を計上しました。